

令和8年度富山国際大学入学者選抜 一般選抜(学力検査)における教科・科目の「出題の意図」等について

本学が設置する現代社会学部及び子ども育成学部において、「入学者の受け入れ方針」(アドミッション・ポリシー)に基づき、知識・思考力・判断力などの基礎学力を測るうえで、全学共通(国語は一部を除く)の教科・科目の問題による学力検査を行っています。

各学部が設定している教科・科目は、次のとおりです。

現代社会学部 = 必修科目:英語 選択科目:国語、数学から1科目 全2科目

子ども育成学部 = 必修科目:英語・国語 全2科目

なお、その教科・科目の出題の意図等については、次のとおりです。

また、例年の出題の傾向と本年度の出題の概要も併せて示します。

【英語】 (現代社会学部・子ども育成学部)

〔出題の意図〕

大学の講義や専門分野の文献を理解するためや、教育の現場でのグローバル化などに伴い、土台となる英語の語彙力と文法知識が不可欠であり、これらの基礎力が定着しているかを確認するために出題しています。また、読解問題を通じて、文脈を正確に把握する力や、文章の論理構成を理解する力も測ります。さらに、英語はグローバルなコミュニケーションツールでもあり、文章を理解し、それに基づき思考する力は、異文化理解や国際的な場で円滑なコミュニケーションを図る上での基礎となるため、その力を測る上でも問題を出題しています。

〔出題の傾向〕

イディオム及び句動詞表現、文法・語彙、読解、作文に関わる5つの大問を出題します。イディオム及び句動詞表現に関する問題では、自然な会話の文脈の中でこれらの文化的表現を認識し、理解する力が求められます。文法・語彙の問題では、英語の基本的な使い方を習得しているかどうかを見ます。読解では、既存の知識を活性化して全体の要点と必要な細部の情報をつかむことが重要です。作文は長文記述問題です。ひとつのテーマや問いに対してこれまでの経験を踏まえて自分の考えをまとまり良く表現する力が求められます。

〔令和8年度の出題の概要〕

- 一般選抜(Ⅰ期)「英語」(令和8(2026)年2月1日実施)・一般選抜(Ⅱ期)「英語」(令和8(2026)年3月13日実施)共通(現代社会学部・子ども育成学部共通)

〔1〕イディオム及び句動詞表現問題

自然な会話の文脈において、文化的背景に根ざしたイディオム及び句動詞表現を正確に理解する力を測る。

〔2〕文法・語法問題

英文センテンスの空欄に、適切な語句・表現を選択して補充する設問により、文法及び語法の知

識を試す。

〔3〕文章完成問題

英語によるニュース記事に付された選択式の設問によって、文章全体の主題と展開を的確に捉え、文意を的確に反映した語彙を、正しい文法・語法の知識に基づき空欄に補充する力を試す。特に、構造・意味の連関・用法・語彙に関する知識を重視して評価する。

〔4〕読解問題

時事的トピックまたはヒューマンインタレストの英文に付された選択式の設問によって、英文の内容理解及び主旨把握の力を試す。

〔5〕作文問題

与えられた課題に対して、根拠に基づく見解を構成し、論理的・一貫的かつ内容の充実した英語による 150 語程度の短いエッセイを作成。受容的技術のみならず産出的技術の達成度を評価する。

【国語】（現代社会学部・子ども育成学部）

〔出題の意図〕

近代以降の文章を出題しているのは、現代社会の様々な問題を理解し多角的に分析するためです。文章を読み解き、筆者の主張や意図を正確に把握する力や限られた字数で論理的に記述する力、**また**、適切な言葉遣いや表現力が身に付いているかなどを測ります。小説においては、登場人物の心情の理解と客観的な表現力を測ります。漢字・語句問題については、漢字検定2級程で出題しています。子ども育成学部のみ出題の古文においては、基本的な古語や古文文法の知識の定着や読解力を測ります。国語は、基礎的な知識のもとに、論理的思考力と表現力を総合的に測るうえで問題を出題しています。

〔出題の傾向〕

「現代の国語」及び「言語文化」（近代以降の文章）を出題範囲とし、現代社会学部は「古文・漢文」を除き、子ども育成学部は「漢文」を除きます。出題は 3 つの大問で、[1]は長文問題（評論）で、内容読解中心の記述問題です。[2]は言葉に関する知識問題で、漢字書き取り・読み、対義語、慣用句、熟語等。子ども育成の「古文」は基本的な語句の意味と読解です。[3]は長文問題（小説・随筆等）で、心情読解中心の記述問題です。[1][3]ともに、解答に字数指定の記述式を含みます。

〔令和8年度の出題の概略〕

●一般選抜（Ⅰ期）「国語」（令和 8(2026)年 2 月 1 日実施）

・共通問題

〔1〕評論

発想、根拠、理由等の内容説明、論旨のまとめを合理的、客観的、簡潔に記述。

〔3〕小説

場面、心情、理由等の説明を合理的、客観的、簡潔に記述。字数指定の記述。

・選択問題

〔2〕 現代社会学部

誤字訂正、ことわざ、4字熟語、3字熟語等を正確に記述。

〔2〕 子ども育成学部

誤字訂正、ことわざ、4字熟語等を正確に記述。

古文「宇治拾遺物語」現代語訳の記述、読解選択肢、理由記述等。

●一般選抜(Ⅱ期)「国語」(令和 8(2026)年 3 月 13 日実施)

・共通問題

〔1〕 評論

原因、指示語、根拠、理由等の内容説明を合理的、客観的、簡潔に記述、1文抜き出し。

〔3〕 小説

場面、心情、理由、比喻等の説明を合理的、客観的、簡潔に記述。

・選択問題

〔2〕 現代社会学部

漢字書き取り・読み、対義語、慣用句・意味選択肢を正確に記述。

〔2〕 子ども育成学部

漢字書き取り・読み、対義語、慣用句・意味選択肢を正確に記述。

古文「徒然草」古語読み、現代語訳選択肢、古文文法、心情読解選択肢、筆者名選択肢。

【数学】(現代社会学部)

〔出題の意図〕

現代社会では、論理的な思考を用いて問題を分析し、解決策を導き出す、特にデータやグラフなどを用いて社会現象を分析することが求められます。数学を通じて、論理的に物事を捉え、順序立てて考える力を測るために出題しています。

〔出題の傾向〕

数学Ⅰにおいては、数と式、2次関数、図形と計量、データの分析の領域から、数学Ⅱにおいては、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数・指数関数・対数関数、微分法と積分法の領域から出題されます。

また、記述式問題については、さまざまな現象を数学的にとらえる「思考力」、データの分類や場合分けを見抜く「判断力」、自分の考えをイメージし、論理的に説明できる「表現力」を中心に評価されます。

〔令和 8 年度の出題の概略〕

●一般選抜(Ⅰ期)「数学」(令和 8(2026)年 2 月 1 日実施)

〔1〕 数と式

絶対値を含んだ式の計算、因数分解の公式、無理数の特徴について理解しているか。

〔2〕データの散らばりの大きさ

データの代表値(平均値、中央値)を理解しているか。分散、標準偏差を理解しているか。

〔3〕導関数と関数の最大・最小

導関数の求め方を理解しているか。増減表が作成でき、増減表から関数のグラフを描けるか。

●一般選抜(Ⅱ期)「数学」(令和 8(2026)年 3 月 13 日実施)

志願者がいなかったため、掲載せず。

【令和8年度(2026)入試問題、解答又は解答例】

令和 8 年度(2026)の入試問題および解答又は解答例については、別途入試問題集をご覧ください。

<http://wordpress.tuins.ac.jp/wp-content/uploads/2026/07/entranceexamprepbook2026.pdf>